



セミナー情報

2017年7月 セミナー一覧

2017.7.3 (月) | セミナー

整数論セミナー(13:30--15:00【会場：合同A棟801】)

講演者：窪田 隆弘 氏 (東北大学大学院理学研究科)

題目：論文 K. Kamano, A formula for multi-poly-Bernoulli numbers of negative index. Kyushu J. Math. 67 (2013), 29-37. の紹介

概要：

ベルヌーイ数を一般化したものに、ポリベルヌーイ数および多重ポリベルヌーイ数がある。Kamanoは上指数が負の多重ポリベルヌーイ数について研究し、多重ポリベルヌーイ数のいくつかの系列について、その値の扱いやすい明示式を与えた。本講演では、その明示式について紹介する。また、後半では、Komakiによって得られたポリベルヌーイ数と多重ポリベルヌーイ数の関係式についても併せて紹介する。

2017.7.4 (火) | セミナー

幾何セミナー (15:00--16:30【会場：数学棟305】)

講演者：斎藤 俊輔 氏 (東北大学AIMR)

題目：Stability of anti-canonically balanced metrics

概要：

anti-canonically balanced 計量は Donaldson により定義された Kähler-Einstein 計量の量子化である。本講演では新しい Fano 多様体の安定性—F 安定性—を導入し、anti-canonically balanced 計量と F 安定性との関係を紹介する。また F 安定性と既存の安定性(K 半安定性, 漸近的 Chow 安定性, 一様 K 安定性)の関係についても述べる。講演の内容は高橋良輔氏(東北大)との共同研究に基づく。

2017.7.6 (木) | セミナー

応用数学セミナー (16:00--17:30【会場：合同A棟801】)

講演者：太田 雅人 氏 (東京理科大学 理学部)

題目：Strong instability of standing waves for nonlinear Schrodinger equations with a partial confinement

概要：

1次元の調和ポテンシャルをもつN次元の非線形シュレディンガーの定在波解の強い意味での不安定性について考える。ここで、定在波解のどんな近くにも有限時間で爆発する解が存在するとき、その定在波解は強い意味で不安定であるという。ポテンシャルによる束縛が働かないN-1次元における L^2 臨界または優臨界の非線形形幕の場合、すべての基底状態・定在波解は強い意味で不安定であることを示す。

2017.7.7 (金) | セミナー

ロジックセミナー(16:00--17:00【会場：合同A棟1201】)

休み

2017.7.21 (金) | セミナー

代数幾何学セミナー (13:30--【会場：数学棟305】)

講演者：Sebastian Lesnic 氏 (東北大学大学院理学研究科)

題目：Binomial ideals in polynomial rings

ロジックセミナー(16:00--17:00【会場：合同A棟1201】)

講演者：井野 海 氏 (東北大学大学院 理学研究科)

題目：論文 P. D'AQUINO, J. F. KNIGHT and S. STARCHENKO "REAL CLOSED FIELDS AND MODELS OF PEANO ARITHMETIC" The Journal of Symbolic Logic, Vol. 75, No. 1 (MARCH 2010), pp. 1-11の紹介

概要：

Mourgues, Ressayreによって全てのRCFはinteger partを持ち、さらにShepherdsonによってinteger partはIOpenのモデルになることが示された。本論文では可算なRCFに対して、PAを満たすようなinteger partの実閉方がrecursively saturated となり、一方でrecursively saturatedなRCFはPAを満たすようなinteger partを含むことなどが証明される。

2017.7.24 (月) | セミナー

整数論セミナー(13:30--15:00【会場：合同A棟801】)

講演者：高瀬 幸一 氏 (宮城教育大学数学)

題目： Sp_{2n} の generic supercuspidal 既約表現の構成

概要：

非アルキメデスの局所体上の Sp_{2n} の supercuspidal な既約表現を具体的に構成して、それが generic であることを証明します。このような表現論に不慣れな学生さんいらっしゃるとしますので一通り基本的な定義と簡単な歴史などを述べながら、時間の許す範囲で解説したいと思います。

2017.7.28 (金) | セミナー

ロジックセミナー(16:00--17:00【会場：合同A棟1201】)

講演者：小林 幹 氏 (東北大学大学院 理学研究科)

題目：The models of Weak König lemma

概要：

Σ^0_1 や Δ^0_1 を満たす二階算術のモデルについて、それらを WKL_0 を満たすモデルに拡張するための条件を Ackermann coding や そのモデルの initial self-embedding を用いて表すことができるという結果が Tin Lok Wong 氏によって得られている。本発表では同氏の論文を参考に、それらの結果を紹介し、証明を行う。

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号 TEL:022-795-6401 FAX:022-795-6400

E-MAIL:math-office@math.tohoku.ac.jp

© 2006-2014, Mathematical Institute, Tohoku University. All Rights Reserved.